

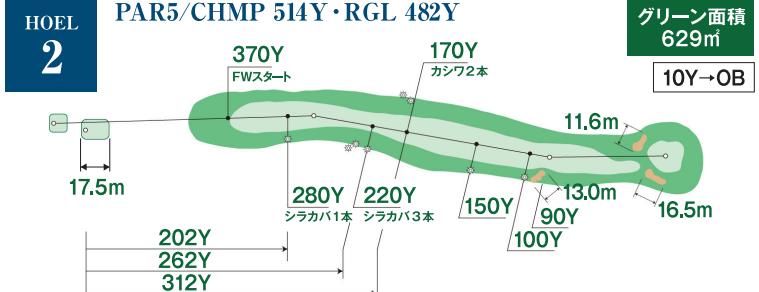
# Out Course



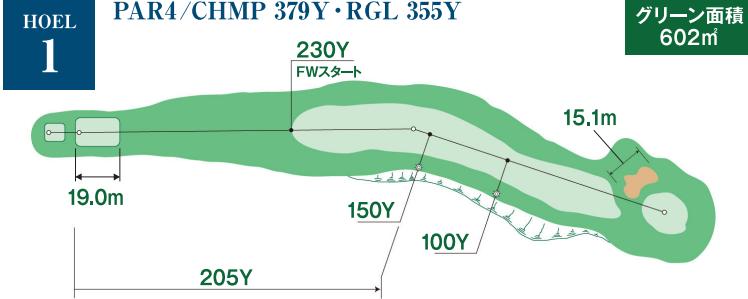
室蘭ゴルフ倶楽部  
Muroran Golf Club

〒050-0055  
北海道室蘭市崎守町 293-1 TEL:0143-59-4641 FAX:0143-59-6504

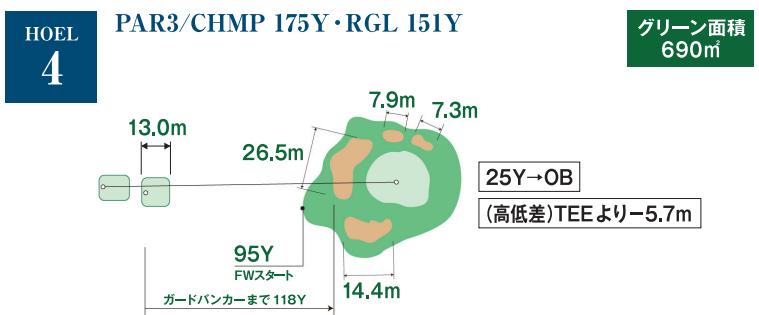
表示された数字(Y)は、グリーンまでの水平距離である。1Y ≈ 0.9m



ティショットの落下地点が広いので、ロングドライブが期待できるホール。  
残り150ヤード付近から左側は林が続き、100ヤード地点の右にクロスバンカーがあるので、  
2打目はフェアウェーに確実に運ぶ。左の林に入れるとな3オンが難しくなるので要注意。  
グリーンの奥はOBなので、グリーンオーバーは禁物。

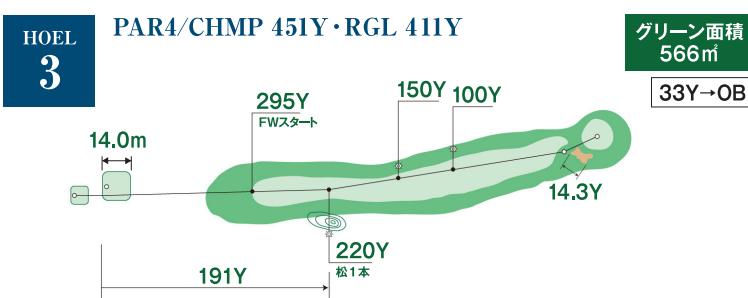


左側に林が続いているホール。  
フェアウェーがやや左傾斜なので、ティショットはフェアウェーの右側に打ち好位置をキープする。  
グリーンは奥に向かって早いので、2打目は花道からのせていく。  
グリーンの左側は沢になっているので、外すとアプローチが難しく、バーセーブが難しくなる。

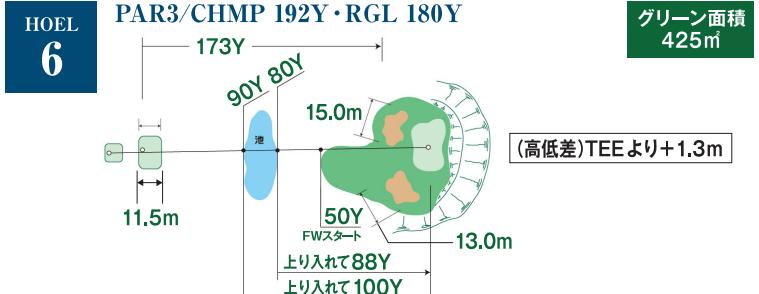


グリーン手前と左右のバンカーにガードされた距離の短いホール。  
グリーンは右から左へ緩やかな傾斜の受けグリーンで、奥へ向かって早い。

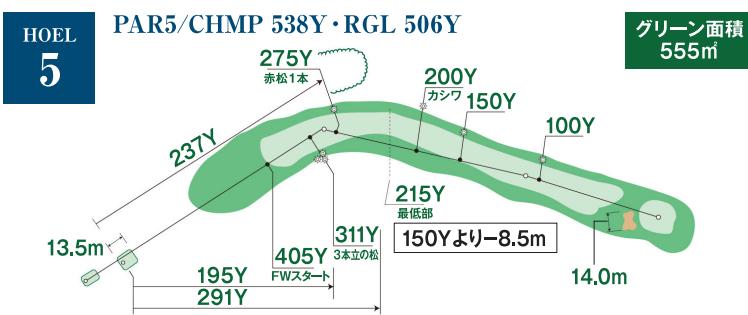
風の影響を受け易いホール。



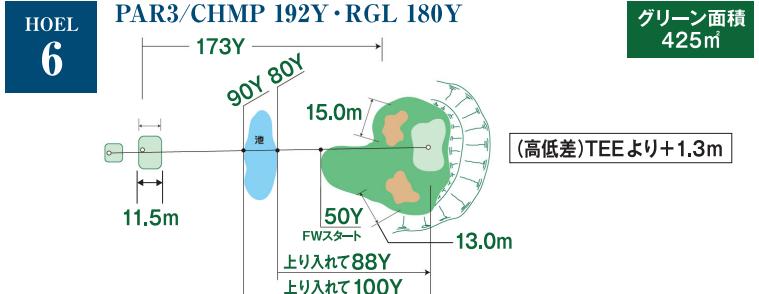
緩やかな左ドッグレッグの距離のあるホールで左側は残り140ヤード地点から林が続く難易度の高いホール。  
ティショットはフェアウェー右側がベストポジション。左のラフに入ると2打目が距離の長い林越えとなるので2オンが難しい。右側の林の奥はOBなので要注意。  
グリーンは左手前から奥へ早い。



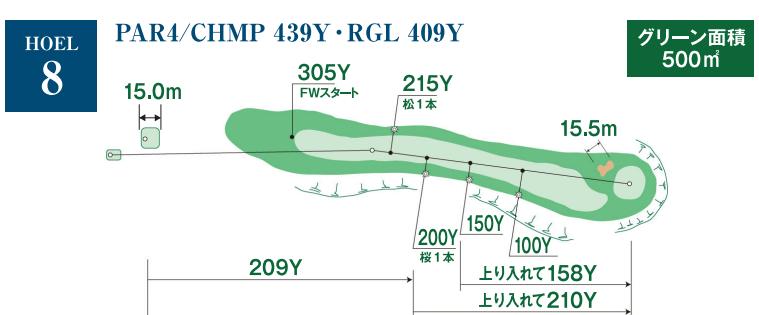
奥行きのない傾斜のきつい小さな受けグリーンで、奥へ外すと返しのアプローチが難しいので手前から攻めたい。一見打ち下ろしのように見えるが、ティとグリーンの高低差はないホール。  
グリーン手前の左右にあるガードバンカーが効いているので、正確な距離感が要求される難易度の高いホールである。



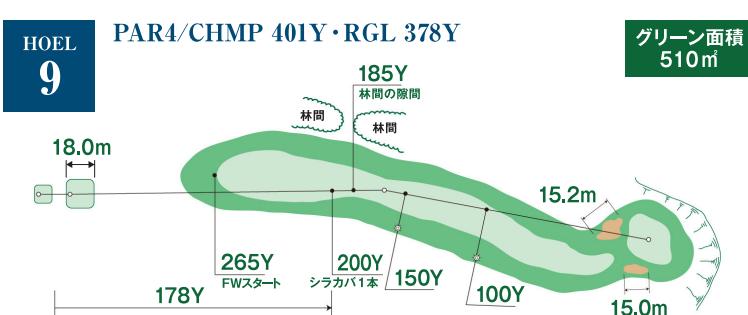
ティショットが打ち下ろしの右ドッグレッグのロングホール。右は沢でOBがあるので、ショートカットは危険。ティショットは左下に見える赤松の方に打ちフェアウェーをキープする。2打目はフェアウェーのやや左側に打っていくと、3打目でピンが狙いやすい。グリーンは傾斜のきつい受けグリーンなので、奥へ外すとアプローチが難しい。グリーン右側に外すとOBがあるので警戒を要す。



距離の短いサービスホールではあるが、奥行きのない小さいグリーンで、奥からのバッティングは順目で早く難しい。ティショットはフェアウェーをキープして、2打目で確実にピン手前に運びたい。ピン横からもラインが読みづらいので、ピン手前に運ぶ距離感を重視したい。



左右に林がある距離の長い難易度の高いホール。ティショットはフェアウェーセンターへ打つ。  
右のラフにいくと残り150ヤード地点に迫り出しているマウンドが如何にも目障りであり、2打目が打ちづらい。距離の長い2打目はグリーン左手前のバンカーを避けて、花道から攻めていきたい。グリーンは受けグリーンで、比較的のクセがなくラインは出し易い。



コースの右側が広くなっている、ティショットをゆったりと打てるホール。  
フェアウェーが右から左に傾斜しているので、ティショットはフェアウェーの右サイドに打っていく。  
左は林が続いているので、この中に打ち込むとグリーンが狙えないトラブルとなるので要注意。  
グリーンは奥から手前に順目の受けグリーン。奥へ外すと返しのアプローチが難しくなる。

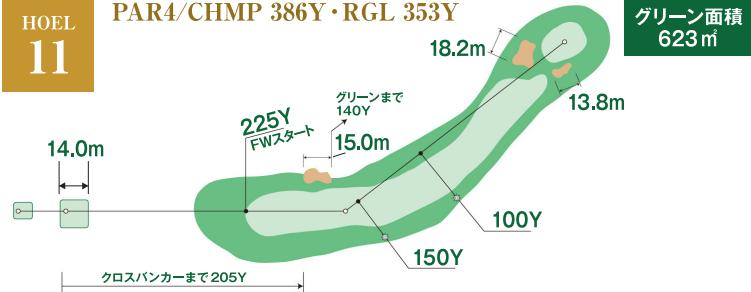
# In Course



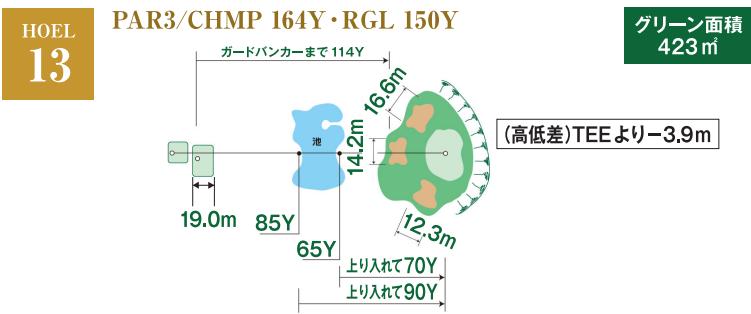
室蘭ゴルフ倶楽部  
Muroran Golf Club

〒050-0055  
北海道室蘭市崎守町 293-1 TEL:0143-59-4641 FAX:0143-59-6504

表示された数字(Y)は、グリーンまでの水平距離である。1Y ≈ 0.9m



左ドッグレッグのホールで、240ヤード地点にあるバンカーの上を越えていくと、ベストポジションを確保できるが、左側は沢がありOBがあるので、ひとつ間違えると大ケガをすることも多い。ティショットをフェアウェーセンターへ打つことが賢明な選択といえる。グリーンは急傾斜の受けグリーンなので手前からのせる。左や奥に外すとバーセーブが極めて難しい。

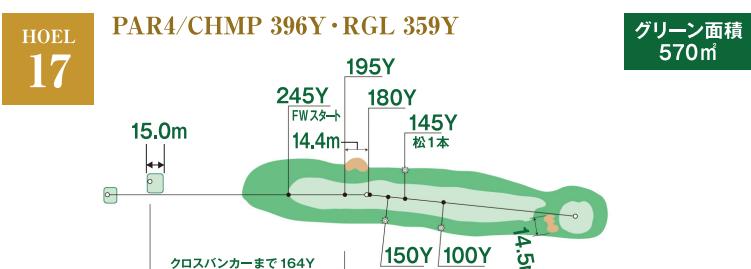


景観の美しい、打ち下ろしのホール。グリーンは奥行きのない小さい受けグリーンで、しかも風の影響を受け易いホールなので、距離感が重要なポイント。周辺の林の上と下では風の受け方が異なり、弾道によって距離感が変わる。

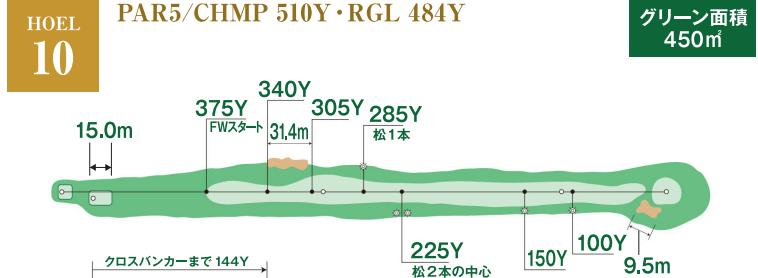
グリーン奥からのアプローチはピンに寄せるのが難しく、バーセーブが厳しくなる。



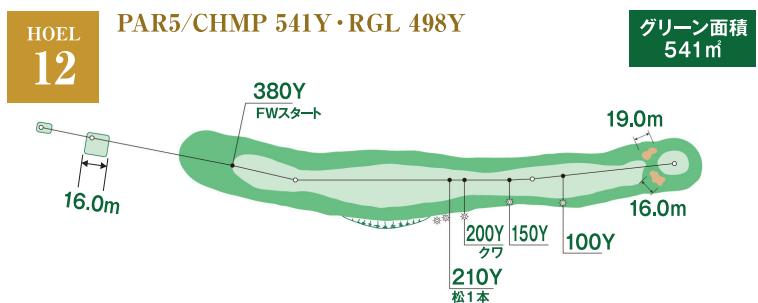
室蘭岳を正面に見る眺望のよい打ち下ろしのホール。ティショットは豪快にフェアウェーセンターへ打っていく。210ヤード付近にあるバンカーに入れるとなかなか難しい。2打目は左手前にあるガードバンカーを避けて、花道からピン手前に運ぶ。グリーンは傾斜のきつい受けグリーンで上からは止まらない。ピン奥からのパッティングは3パットの危険あり。終盤のキーホールとなるので安全に攻めたい。



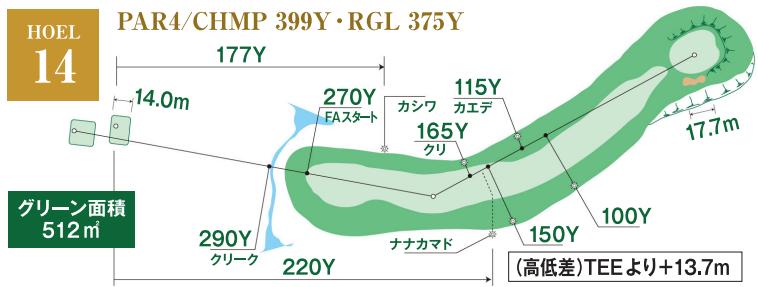
グリーンの遙か後方に秀峰駒ヶ岳が浮かぶ室蘭ゴルフ倶楽部で最も眺めの良いホール。ティショットはフェアウェーセンターへ確実に運ぶ。2打目は花道から転がしてピン手前に打っていくとバーディチャンスが待っている。左は柏の林が続いており、この中に入るとフェアウェーに戻すのが精一杯となり、終盤の勝負どころでボギーもあり得る。グリーンの左や奥は砲台でありアプローチが難しく外すとトラブルになる。正確なセカンドショットが重要なホールである。



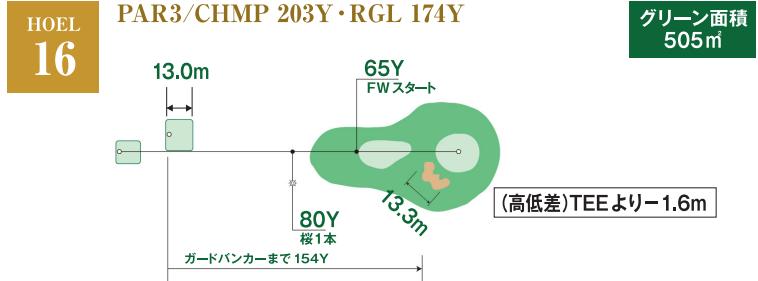
左右に林が続き300ヤード地点からは緩やかな上りになる真直ぐなホール。ティショットはフェアウェーキープが条件。左右に曲げると林がありトラブルとなる。特に左はOBなので禁物。グリーンは傾斜のきつい受けグリーンで、奥に落とすとアプローチが難しい。ピン手前にのせていけば、バーディチャンスとなる。



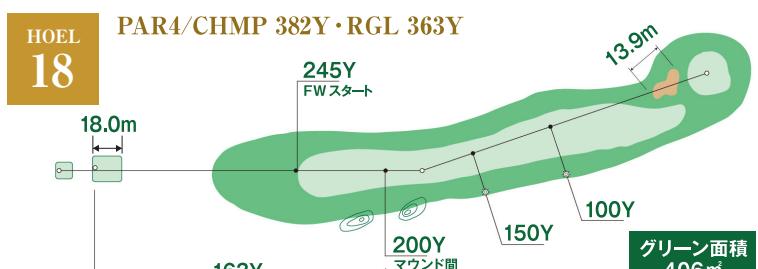
ティショットはやや打ち上げ、2打目以降が緩やかな打ち下ろしのホールで、フォローの風が吹くとロングヒッターは2オンが狙える。あまり無理をして左の林にいくとOBもあり、トラブルとなるので、フェアウェーをキープして、3打目でピンを狙うのが策か。グリーンは奥へ向かって早いので、手前から攻めて好位置をキープしたい。グリーンオーバーは禁物。



ティンググラウンドから100ヤード付近にあるクリークを越えた地点から急傾斜の打ち上げとなる左ドッグレッグのホール。坂の上までは250ヤードで、ここまで打ってくるとグリーンは狙い易くなるが、難ホールのひとつである。ティショットはフェアウェー右に打つ。左の林に入ると脱出が困難でありトラブルとなる。2打目は左の林すれすれに打ってグリーンを狙う。グリーンは傾斜のある受けグリーンで左側と奥は砲台となっており、外すとアプローチが難しくなるので要注意。



グリーンは比較的平らで奥に向かって早い。グリーン左手前にある楓の木が邪魔をしており、右にはガードバンカーがあるので、花道からのせいでいるのが策。グリーンに直接のせるとグリーンの奥へと消えていくこともある。平らなグリーンではあるが、起伏があり芝目がきついので甘くみてはいけない。



左右にある柏の樹林帯が圧迫感を与えるホールで、最終ホールという精神的なプレッシャーも加わるなかで、ティショットを如何にフェアウェーセンターへ運ぶかがポイントとなるだろう。勿論、左右の林に入れるとノーチャンスとなることは言うまでもない。グリーンは最終ホールに相応しい構えをしており、左に傾斜しており奥からは急勾配の高速グリーンで難易度は高い。正確なセカンドショットが重要なホールで、最終日のピンポジションによっては、劇的なドラマがあるかも。